

高松市IoT推進ラボ（スマートシティたかまつ推進協議会）

事業の内容

事業目的・概要

- 産学民官の連携の下、共通プラットフォーム上での官民データの利活用を通じた本市のスマートシティ化による、地域課題の解決、及び地域経済の活性化を図ることを目的とする。
- 具体的には、プラットフォームを活用して、スマートシティ化に向けた実証事業の推進やその成果の国内外への普及を行う

重要業績評価指標（KPI）

- 共通プラットフォームで収集・分析するデータ種別数：8件（2020年度）

今後の展開

- 協議会内に、テーマごとにワーキンググループを設置し、設置期間終了後には事業化（国等の補助制度の活用も含む）を求めている。また、将来的には、共通プラットフォーム自体を地域において自立化することも目指しており、5～10年以内にその在り方を検討していく。

事務局

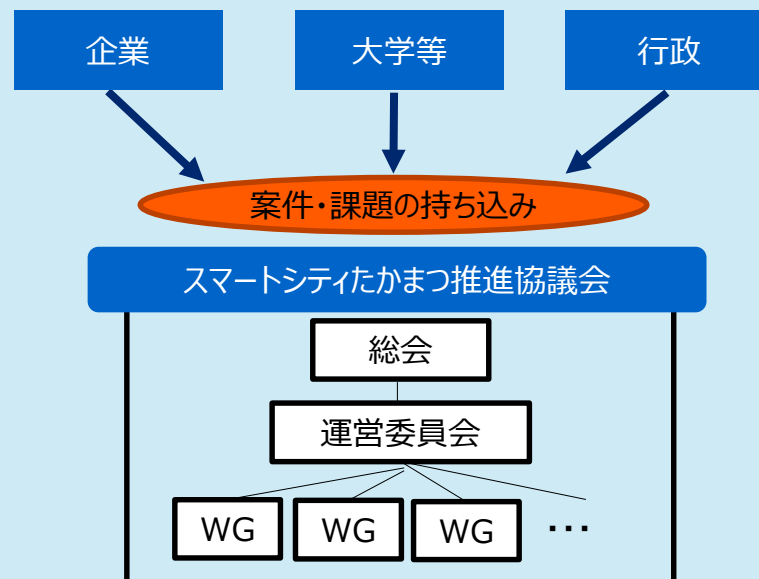
- 高松市総務局ICT推進室

参加プレイヤー

- (株) STNet
- (株) 百十四銀行
- 四国電力(株)
- 高松琴平電気鉄道(株)
- 香川大学
- Code for Sanuki 他

事業イメージ

産学民官の連携によるスマートシティ推進協議会



◇ワーキンググループ（WG）の例

- ビッグデータによる交通安全の推進（本年2月～）
- 災害対応におけるIoT活用（本年5月～）

- ✓ 自治体による横断的なマネジメント
- ✓ 参画企業による自律的な事業運営
- ✓ 有識者による事業化アドバイス
- ✓ 共通IoTプラットフォーム上でのデータ利活用推進

事務局（高松市）

- ✓ 地域課題と協議会会員とのマッチング
- ✓ 国等の補助制度活用の支援